



Business Report 2017

第43期
中間事業報告書
平成29年1月1日～6月30日

株式会社ジョイフル
〒870-0141 大分県大分市三川新町一丁目1番45号 TEL.097-551-7131 (代)
<http://www.joyfull.co.jp/>



Business Report 2017

第43期中間事業報告書

Restaurant
Joyfull

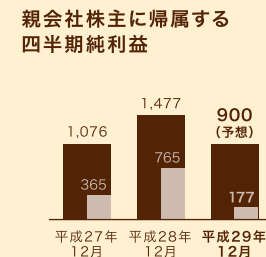
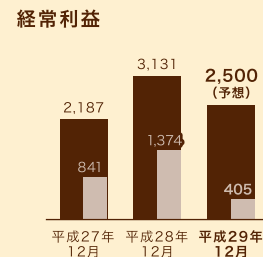
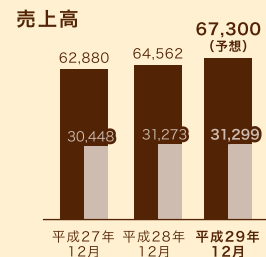
経営理念 Management Philosophy

私達は、チェーンレストラン事業を通じ、
顧客・株主・従業員・取引先・社会の、
精神的・物質的幸福を調和させ、その安定的増進を実現します。

ジョイフル 店員の誓い Our Promise

私達は、ジョイフルの旗のもと、信頼される品質の店、低廉な価格の店、
どこにでもあって、いつでも開いている店、気軽に快く過ごしていただける店として、
永続的・安定的に営業し、皆様に愛される店となります。

連結業績 ハイライト Consolidated Results



■ 通期 ■ 第2四半期連結累計 ※単位百万円

株主の皆様へ

夏季繁忙期に最大の成果を残すべく、 Free-WiFiの設置や、店舗リニューアルを行いました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、ここに第43期(平成29年12月期)の中間事業報告書を作成いたしましたので、
ご高覧いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、輸出・生産面に持ち直しの動きや、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、外食業界においては、消費者マインドに持ち直しの動きがみられるものの、労働力不足による人件費の更なる上昇に加え、北朝鮮やIS問題など地政学リスクの拡大に伴う世界経済の先行き不透明感の高まりなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、地域に根ざした「いちばん身近なレストラン」として、当社のビジネスモデルの根幹である「お値打ち感を主とした商品の提供」と「お客様視点に立ったサービスの実践」に取り組み続けてまいりました。

商品施策では、商品力および提供品質の向上を軸に、多様化する消費者ニーズに対応した商品施策を推進しました。本年はフェアを積極的に実施しており、特に「肉フェア」「ステーキフェア」など、国内の肉ブームに沿ったフェアはお客様から高い評価をいただくことができました。

また、お客様に繰り返しご利用いただける店作りの観点から、お客様にくつろぎの空間を提供すべく、Free-WiFiの全店設置(一部店舗除く)を行いました。同時に、スマートフォンなどを充電できるよう、店内のコンセントの利用を開放いたしました。

新規出店に関しては、ジョイフルブランドでは近畿以東を中心に新店5店をオープンいたしました。また、旧型店舗を完全分煙を採用した新型店舗へと、96店舗のリニューアルを実施しました。新業態である和食カフェテリア業態「ごはん処 喜楽や」に関しては新店5店舗、大分県に出店いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は約312億9千9百万円。営業利益約3億9千9百万円、経常利益4億5百万円となりました。減益となった理由は、労働力不足に伴う人件費の上昇、夏季の最大繁忙期に向けて既存店のリニューアルを当初計画より前倒して実施したことなどに伴うものです。

夏季の最大繁忙期において営業にしっかり取り組むことで、本年度の計画を達成すべく取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも当社へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

穴見 くるみ





※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。

平成29年上期 主な取り組み結果

「ファミリーレストラン ジョイフルにおける取り組み」

1. 営業力強化

平成29年上期も、「地域でいちばん身近なレストラン」として、お子様からご年配のお客様まで気軽にご利用いただけるよう、「お値打ち感が感じられる商品の開発」「お客様視点に立ったサービスの実践」に取り組みました。

【ランドメニュー改定とフェアの実施】

ランドメニューの改定を5月下旬に実施しました。ランドメニューの改定を1回とした理由は、継続的かつ安定した食材購買を行うことで、原材料価格の低減を図ることにあります。その一方でフェアの回数を増やすことで、店頭での目新しさを演出いたしました。フェアは4回実施しましたが、その中でもとくに「肉フェア」「ステーキフェア第1弾」に関しては、国内での肉ブームを背景に、多くのお客様から高い評価を獲得することができました。客単価のアップにも貢献し、売上に貢献しました。



【居心地のよい空間作りへの取り組み】

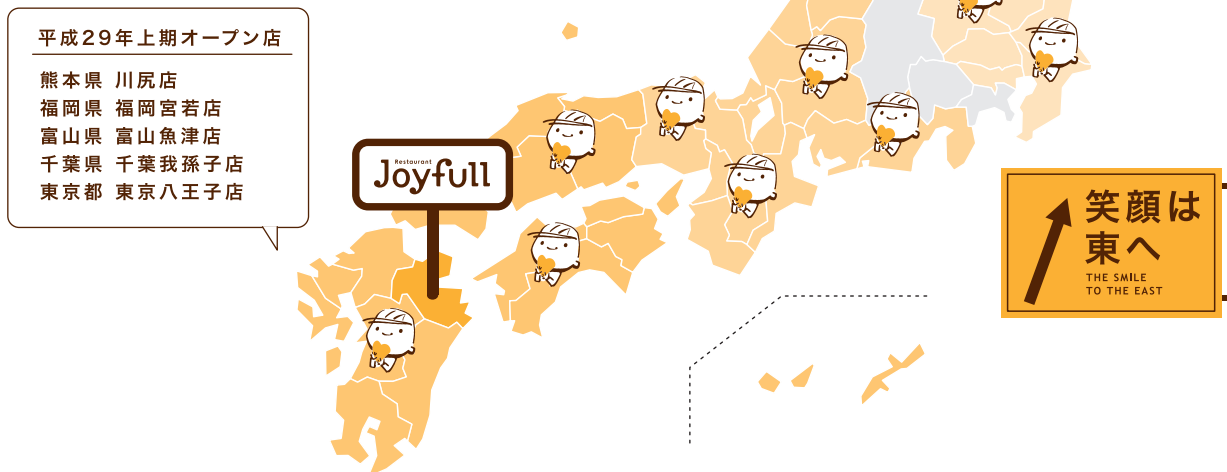
お客様に繰り返しご利用いただける店舗作りの観点から、Free-WiFiの全店導入（一部店舗除く）を行いました。これは、スマートフォン等の普及に伴い高まっていったお客様からのご要望にお応えしたものです。同時に、店舗内におけるコンセント利用についても開放しました。また、Niantic, Inc.と株式会社ポケモンによって共同開発されたスマートフォン向け位置情報ゲームアプリ『Pokémon GO』に関してパートナー契約を結び、お客様の利用頻度向上、新規顧客開拓に取り組みました。



オフィシャルパートナーロゴ

2. 新店出店とリニューアル

平成29年上期においては、新店5店舗をオープンさせました。1月には、平成28年度の熊本震災の影響により閉店を余儀なくされた川尻店を再オープンさせました。また、4月には東京都で4店目となる東京八王子店をオープンさせました。これにより、ジョイフルブランドの店舗は全国で792店舗となりました。また、既存店舗のリニューアルについては、96店舗において実施いたしました。リニューアルにあたっては、お客様のご要望にお応えして、スマートフォンなどデジタルデバイスの充電用にお使いいただけるコンセントの数を増やしており、お客様から高い評価をいただいております。



「新業態における取り組み」

和食カフェテリア業態「ごはん処 喜楽や」は、新店5店舗を出店いたしました。これにより、昨年9月より積極的なチェーン展開をスタートさせた「ごはん処 喜楽や」の店舗数は、全9店舗となりました。定食全品、税込で500円というリーズナブルな価格と、おひとりさまから気軽にご利用いただけるカフェテリア方式のサービス、店内調理にこだわった料理などがお客様の好評を博し、1週間に1度以上利用するお客様が8割を占めるなど高いリピート率を達成しております。また、リーズナブルな価格を追及する一方で、国産食材の使用拡大や無添加調味料の使用などについても積極的に取り組んでおり、安心・安全なお料理でお客様をお迎えできるよう、日々取り組んでおります。なお、「ごはん処 喜楽や」を運営する㈱Rising Sun Food Systemは、1月1日を以って持株会社へと移行しております。





※商品イメージ写真は実際に店舗で提供される盛付とは異なります。

平成29年下期 主な取り組み

「ファミリーレストラン ジョイフルにおける取り組み」

1. 営業力強化

本年度の上期同様、「地域でいちばん身近なレストラン」として、お子様からご年配のお客様まで気軽にご利用いただけるよう、「お値打ち感が感じられる商品の開発」「お客様視点に立ったサービスの実践」に取り組んでまいります。

【商品力強化】

7月には「夏フェア」、8月には上半期に人気の高かった「ステーキフェア第2弾」を実施いたしました。秋、冬に向かっては、さらに魅力あるフェアを展開するべく、準備を進めております。また、グランドメニューの改定にあたっては、昨年まで冬フェアにて提供していた「すき焼き鍋定食」および「味噌チゲ定食」をグランドメニューのラインアップに加えます。本2商品はお客様にたいへん人気のあるメニューとなっており、売上への貢献が見込まれます。さらに、料理提供のクオリティ向上にも取り組んでまいります。「見た目にも美しい、おいしい料理」を、すべてのお客様にご提供できるよう、従業員教育に力をいれ、お客様の満足度向上を図ってまいります。



上：すき焼き鍋定食／下：味噌チゲ定食

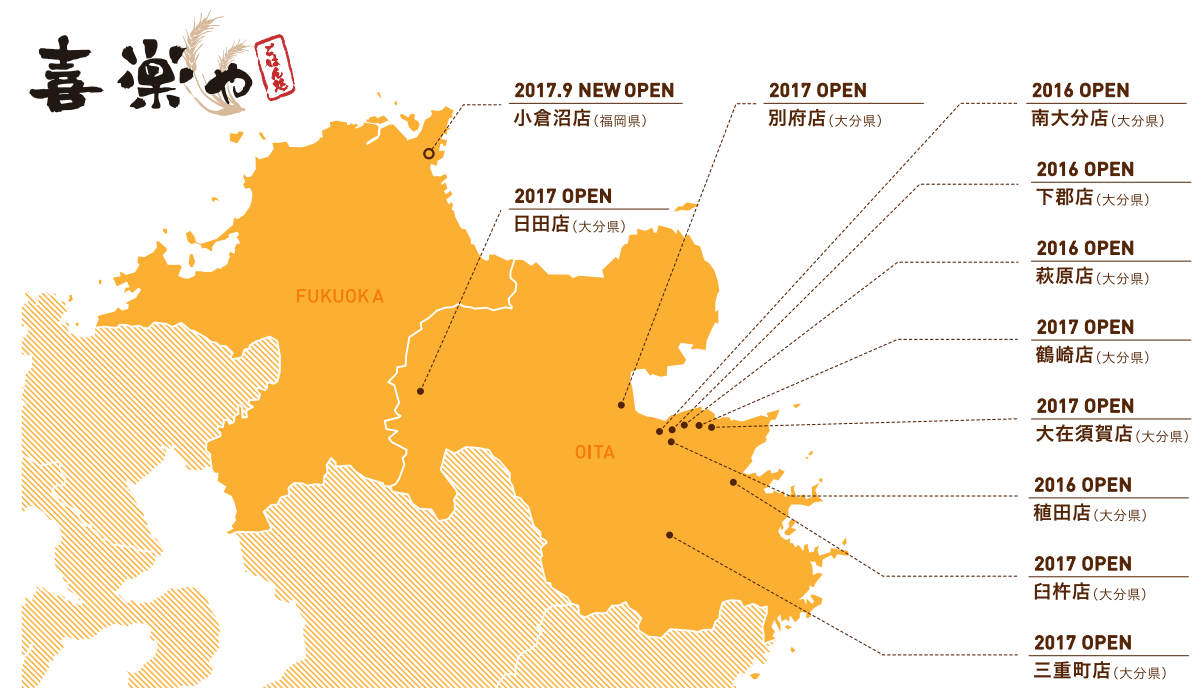
2. 新規出店とリニューアル

新店出店は、関西以東を中心に、年内に30店を予定しています。また、店舗のリニューアルについては、年内に150店舗を予定しています。近年の健康志向や、インバウンドの増加などを踏まえ、お客様ひとりひとりが快適にお過ごしいただける店舗作りに、引き続き取り組んでまいります。



「新業態における取り組み」

「ごはん処 喜楽や」は、下期は新店2店をオープンさせます。これまで大分県内で出店を行ってきましたが、下期は大分県外初となる福岡県小倉沼に出店いたします。これにより「ごはん処 喜楽や」の店舗数は、九州エリアに全11店舗となります。「ごはん処 喜楽や」では、リーズナブルかつ安心・安全な商品の開発・提供に努めつつ、九州エリアへの出店を加速してまいります。



「外販ビジネスにおける取り組み」

平成28年からスタートした自社製ハンバーグの外販事業は、イオン系列のスーパー「MaxValu」での販売を拡大するとともに、大分県国東市、大分市のふるさと納税返礼の品として採用されるなど、順次、ビジネスの拡大を果たして参りました。平成29年3月には大手通販サイト「はびねすくらぶ (http://www.e-hapi.com/)」での販売を開始。7月には、お客様からご要望をいただいていたチーズインハンバーグをはじめとする新商品の販売を開始しております。今後とも外販ビジネスの強化に取り組み、ジョイフルの核商品であるハンバーグを、日本全国のお客様に楽しんでいただける環境づくりに取り組んでまいります。



連結
財務諸表

Consolidated
Financial
Statement

資産の部

当第2四半期連結会計期間末の総資産は301億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億3千万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加、有形固定資産の増加、未収消費税等の減少によるものです。

Point

負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は143億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億4千1百万円の増加となりました。これは主に長期借入金の増加、未払消費税等の減少によるものです。

Point

純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は157億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

Point

売上高

当第2四半期連結累計期間における売上高は、312億9千9百万円(前年同四半期比0.1%増)となりました。新店10店(新業態含む)をオープンさせましたが、最大繁忙期に向けた96店に及び既存店舗のリニューアルに伴う一時閉店の増加、客単価の微減などにより、売上は横ばいとなりました。

Point

営業利益・経常利益

当第2四半期連結累計期間における営業利益は3億9千9百万円(前年同四半期比69.7%減)、経常利益は4億5百万円(前年同四半期比70.5%減)となりました。リニューアルに伴う工事費用の増加、パート・アルバイトを含む従業員の人件費の増加によるものです。

Point

連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産	7,335	5,951
固定資産	21,149	24,164
有形固定資産	15,819	18,660
無形固定資産	118	139
投資その他の資産	5,212	5,364
資産合計	28,485	30,116
負債の部		
流動負債	9,401	7,771
固定負債	3,203	6,575
負債合計	12,605	14,347
純資産の部		
株主資本	15,895	15,778
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	2,390	2,390
利益剰余金	11,277	11,160
自己株式	△3,772	△3,772
その他の包括利益累計額合計	△15	△9
その他有価証券評価差額金	4	6
純資産合計	15,879	15,768
負債純資産合計	28,485	30,116

連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	31,273	31,299
売上原価	10,773	10,422
売上総利益	20,499	20,876
販売費及び一般管理費	19,180	20,477
営業利益	1,319	399
営業外収益合計	106	76
営業外費用合計	50	70
経常利益	1,374	405
税金等調整前四半期純利益	1,274	405
法人税、住民税及び事業税	444	171
法人税等調整額	64	57
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	765	177
四半期純利益	765	177

※金額は百万円未満を切捨表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,653	547
投資活動による キャッシュ・フロー	△620	△3,591
財務活動による キャッシュ・フロー	△562	3,353
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	470	309
現金及び現金同等物の 期首残高	3,104	3,156
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,575	3,466

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は5億4千7百万円(前年同四半期比66.9%減)となりました。収入の主な内訳は、減価償却費6億8千8百万円、未払費用の増加額5億8千8百万円、税金等調整前四半期純利益4億5百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額8億3千5百万円、仕入債務の減少額3億8千万円であります。

Point

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は35億9千1百万円(前年同四半期比478.4%増)となりました。支出の主な内訳は、有形及び無形固定資産の取得による支出34億1千1百万円であります。

Point

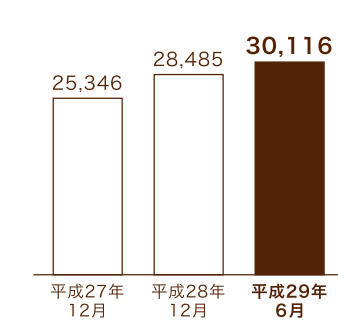
財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は33億5千3百万円(前年同四半期は5億6千2百万円の使用)となりました。収入は、長期借入れによる収入38億円であり、支出の主な内訳は、配当金の支払額2億9千4百万円、長期借入金の返済による支出1億1千7百万円であります。

Point

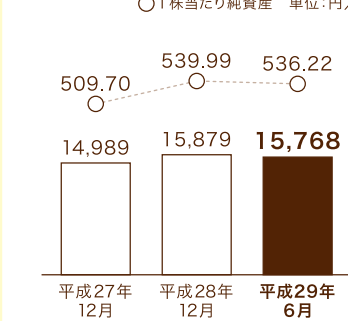
総資産

単位:百万円



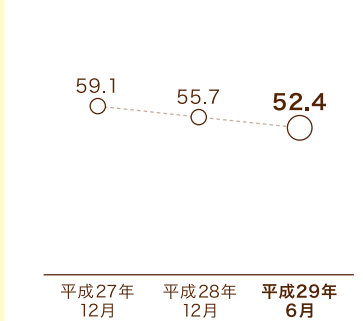
純資産

□ 純資産 単位:百万円
○ 1株当たり純資産 単位:円/銭



自己資本比率

単位:%



株式情報
Stock Information

株式の状況

発行可能株式総数
120,000,000 株

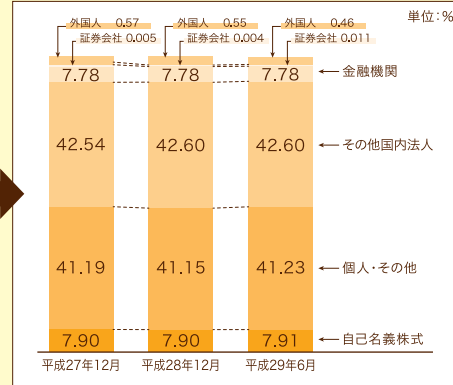
発行済株式総数
31,931,900 株

株主数
13,255 名

株式の所有者別状況

	平成27年12月31日現在		平成28年12月31日現在		平成29年6月30日現在	
	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)	株主数(名)	株式数(株)
証券会社	7	1,772	6	1,572	8	3,618
外国人	26	183,500	23	175,900	18	147,600
金融機関	13	2,485,262	13	2,486,062	13	2,485,562
その他国内法人	86	13,584,180	91	13,603,280	91	13,604,180
個人・その他	12,459	13,153,224	12,750	13,140,994	13,124	13,166,650
自己名義株式	1	2,523,962	1	2,524,092	1	2,524,290
合計	12,592	31,931,900	12,884	31,931,900	13,255	31,931,900

株式の所有者別構成比率の推移



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日
定時株主総会 毎年3月
基準日 定時株主総会の議決権/毎年12月31日
 期末配当金/毎年12月31日
 中間配当金/毎年6月30日(中間配当を実施する場合)
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
 本店および全国各支店で行っております。
公告の方法 電子公告の方法により行います。但し、やむをえない事由により
 電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL <http://www.joyfull.co.jp/>
上場取引所 福岡証券取引所

◎住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
 株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
 株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行
 株式会社にお申し出ください。

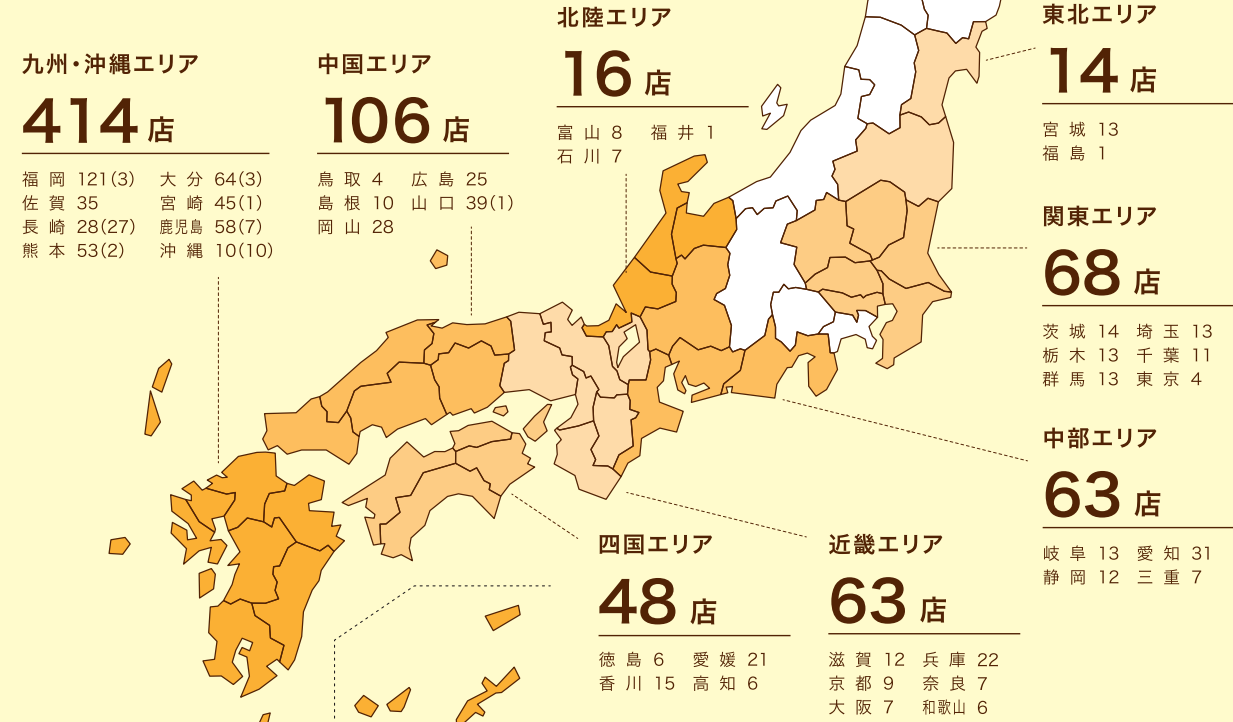
◎未払配当金の支払いについて
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に
 お申し出ください。

◎「配当金計算書」について
 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措
 置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告
 を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
 なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、
 配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいて
 おります。※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

会社情報・
店舗情報
About Us

店舗一覧 店舗ネットワーク

792 店 うちFC店舗54店 ※()内はFC店舗
 ※2017年6月30日現在 ※新業態含む



会社概要

(平成29年6月30日現在)

社名	株式会社ジョイフル	創業	昭和40年6月	資本金	60億円
本社所在地	大分県大分市三川新町一丁目1番45号	創立	昭和51年5月	主な事業内容	「ファミリーレストランジョイフル」のチェーン展開
大分工場	大分県大分市三川新町一丁目1番45号	連結子会社	株式会社ジョイフル東関東・東北/株式会社ジョイフル西関東・北陸/株式会社ジョイフル東海/株式会社 ジョイフル近畿/株式会社ジョイフル中国/株式会社ジョイフル四国/株式会社ジョイフル北九州/株式 会社ジョイフル中九州/株式会社ジョイフル東九州/株式会社ジョイフル西九州/株式会社ジョイフル南 九州/株式会社Rising Sun Food System/株式会社ジョイフルサービス		
大分配送センター	大分県大分市下郡3410番1号				
熊本工場・配送センター	熊本県菊池市架斐尾字下大迫445番4号				
愛知工場	愛知県豊川市御津町佐脇浜三号地1番17号				